

9月27日 神明町（ふれあい会館にて）

<主なやりとりと対応状況>

* 対応状況は矢印⇒です。

- 大磯駅の発車メロディーが大磯らしくなくて、寂しい。日本の音楽にこだわらなくてよいのではないか。「浦のあけくれ」という音楽はどうか。
⇒ JRに確認したところ、今年の4月から料金設定を開始し、月100万円かかるとのことでした。他の自治体は無料でメロディーをつけており、交渉も行いましたが、メロディーをつけるのは難しい状況です。
- 区長が町の広報をわざわざ配っているが大変であると思う。新聞への折り込みを行ってみてはどうか。県はそういった対応をしている。
⇒ 町広報の配布方法については、業者への委託を含めて検討中です。
- まちづくり条例について、実際に活かされていない。町民に協力してもらい、事業者の行動をチェックしていくようなシステムを構築するべきである。
⇒ 町にとって自然や景観は大きな魅力となります。町の出前講座を活用するなどして、見直すべき点があればご提言いただけると有難いです。
- 町のイベントについて、大磯らしい自然を活かしたイベントを作るべきだ。「あめにわ」のような、地球環境を考えるような要素を取り入れてはどうか。
⇒ 昨年「環境フェア」を始めましたので、更にその充実を図っていきます。
- 駅前の交番が移設されることで、スペースができると思う。空いたスペースはどのように活用していくのかを聞きたい。
⇒ 交番の移設が完成すると歩道が広がりますが、そのスペースをどのようにして活用するかは、町民の皆様にご意見を伺いながら検討します。
- 観光協会が出しているハイキングマップが分かりにくい。迷わずに目的地へ行けるような冊子を作ってほしい。
⇒ 観光協会に、分かりやすいハイキングマップを作っていただけるようご要望を伝えました。
- 空き家の管理を誰も行ってくれない。歩いている人が、空き家にゴミを捨てていく問題やイノシシが荒らすような事例もあるので、なんとかしてほしい。
⇒ 昨年空き家に関する法律が変わり、管理の悪い空き家に対して固定資産税を値上げ

できるようになりました。状態が悪い空き家を見つけた時は、町にお伝えいただければ、町から管理を徹底するよう依頼します。

- 私有地の敷地内に腐ったり、倒れる危険がある大きな木がある場合、対策するための補助等はあるのか。
⇒ 残念ながら、私有地の木への補助等はありません。

- 移住・定住者のアンケート調査はされているのか。
⇒ アンケート調査を行い、集計して様々な計画に反映させています。転入してくる方の理由として、大磯には自然が多いこと、転出される方の理由として、職場の都合、進学、不便などが挙げられています。

- 7月30日の津波警報について、フィードバックは防災ミーティングで伝わるのか、広報等で町民へ伝えるのか。
⇒ 津波警報時の検証を行っているところです。災害時は区長中心で対応されているので、区長連絡協議会で報告させていただきます。

- 駅前の広場は、災害時等に人が待機できる場所にもなり得るので、新しいものを作らない方がよいと思う。
⇒ 駅前については色々な使い方が考えられるので、何かを新しく作るということは考えていません。町民の皆様にも利用方法をご相談させていただきます。

- 町役場の建替えにおいて、誰もがピアノを弾けるスペースを作ってほしい。
⇒ 1階の構想としてギャラリーやカフェなどを作ることも検討しています。その中でピアノを置くのもいいアイデアだと思いますので、基本設計に先立って町民の皆様から意見をお伺いする場で、ご提案をいただけたらと思います。

以上